

① タイトル

図鑑に夢中になる2人



② 子どもの姿から

日頃から気の合う2人。Aくんが図鑑を持ち出し“虫博士”と皆から呼ばれているBくんを誘い、ページを開いた。あっという間に本の世界に引き込まれる2人。

③ 子どもの育ち

子どもたちが、自然と本に親しめたら良いなあと想い机、イス、本棚の配置をアレンジ。近頃では友だちと本を読んだり、見ている姿を見ます。身边では、なかなか目にすることのない、ちょっと不思議な名前、形状の虫に知的好奇心をくすぐられた2人。本を通して知らないことを知る、学びという喜びや、友だちと一緒に読む楽しさを感じていると鬼われます。

“一緒に読む”ことで、譲り合う気持ち、共感する心など相手を思って、相手のペースに合わせようとする協調性も培われると想われます。

④ 次のステップ

興味の持てる1冊に出会うことで次につながり、2冊目3冊目とあらゆる本に多少なりとも興味を示すことで、子どもの視野を広げるキッカケになると考えます。

からかうなに興味を持ち始めた年少児CくんDくんは日に何度も足を運びます。お部屋以外に落ち着ける空間を作ることは自然なカタチで異年齢交流が出来ると感じます。

一〇四

教師の切口を教員の S と教員の F に分けた。

૧૨

三
九
月
一
日

